



図6 第2波進行状況説明図

整理すると、第2波の東から来た最初の波は、南防波堤を越えたところで事実上潰れてしまい港の中央部や東波除堤には津波の影響は及んでおらず、東から来た波が停滞し（潰れ）ているうちに南側から来た波が先に4号機海側エリアに着岸し、その後東側から来た次の波が4号機海側エリア着岸から1分近くしてから防波堤を超えた上に東波除堤を越えて原発正面へと進んでいったのである。

写真13から写真14では、東波除堤が南側（写真では右側）から次第に津波に呑み込まれていき、津波第2波の4号機海側エリア着岸から52秒後の写真14で視界の北端（左端）部分の東波除堤がまさに津波に呑まれたところである。この写真の視界の北端は東波除堤の3号機から2号機の正面である（図6参照）から、この時点では東側から来た津波の後続波はまだ1号機から3号機の敷地には達していないと見るべきである。

港中央部と東波除堤をマークした写真を再掲する。